

題材名 「仲間のために自分ができること

～創美祭を通して～

第3学年 学級活動（2）

◆本実践の概要

学園祭を通して気付いた自他のよさを認識し、伝え合う。卒業までの学校生活を見通し、学級生活をよりよくしていくため、多様な仲間の存在と自分のよさを生かしてできることを考え、意思決定をしていく。

1 題材について

「仲間のために”自分ができること”～創美祭を通して～」

学級活動（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成

自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮しながらよりよい集団生活をつくること。

2 学級活動（1）で育成を目指す資質・能力

○日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、適切な意思決定を行い実践し続けていくために必要な知識や行動の仕方を身に付けるようにする。

○自己の生活や学習への適応及び自己の成長に関する課題を見だし、多様な意見を基に自ら意思決定をすることができるようにする。

○他者への尊重と思いやりを深めてよりよい人間関係を形成しようとしたり、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて悩みや葛藤を乗り越えながら取り組もうとしたりするとともに、将来にわたって自他の健康で安全な生活づくりに配慮しようとする態度を養う。

3 第3学年の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。	自己の生活や学習への適応及び自己の成長に関する課題を見いだしている。	他者への尊重と思いやりを深めてよりよい人間関係を形成しようとしている。
適切な意思決定を行い実践し続けていくために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	多様な意見をもとに自ら意思決定している。	他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて、悩みや葛藤を乗り越えながら取り組もうとしている。

4 議題設定の理由

本実践は、学園祭を通して気付いた自他のよさや得られたものを話し合いを通して認識し、卒業までのこれからの学級での生活で、学級の仲間のために自分ができることを考える学習である。自分のためにだけでなく、毎日一緒に過ごすクラスメイトのためにも自分ができることを考えることで、他者を思いやる経験をする準備を進めていきたい。

卒業まで残り半年の期間で、お互いのよさを認め合う活動を通して、学級という集団をよりよいものにするために、全員が自分にできることをじっくりと考えられる機会としていきたい。

5 本時までの活動の流れ

(1) 評価と指導の計画

日時	生徒の活動内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
8月25日	キャリア・パスポートの記入(創美祭に向けての個人目標)	昨年度まで経験してきた学園祭やこれまでの学校生活と結びつけながら、各項目の記入ができるよう支援する。	学園祭の取り組みを通して、自己の課題の改善のために取り組むことの意義を理解している。【知識・技能】(キャリア・パスポート)
8月29日	学園祭の目標と約束事の確認	学級の現状を踏まえながら、学園祭を通してどのような学級にしていきたいか、共通認識を図れるよう促す。	他者と協働して学級の課題を解決するために行動しようとする。【主体的態度】(観察)
9月3日	キャリア・パスポートの記入(創美祭を振り返って)	個人の成長に目を向け、「学級のために何ができるか」という視点を持って各項目へ記入するよう支援する。	学園祭を終えて、次の目標に向けて必要な行動の仕方を身に付けている。【知識・技能】(観察) 自己の成長を振り返りながら、さらに成長するための課題を見いだしている。【思考・判断・表現】(キャリア・パスポート)

(2) 本時の指導と生徒の活動

本時のねらい

○学園祭での経験を基に、よい学級にするために自分ができることを決める。

	主な活動と生徒の反応 (生徒の反応)	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿【観点】 (評価方法)
導入 5分	<p>○学園祭の振り返りを何人かが発表する。</p> <p>S1「仲間と協力しようと思えるようになったところが成長できました。」</p> <p>S2「クラスみんなにポジティブな声かけをすることを頑張りました。」</p> <p>○本時の目標を委員長から提示しその目標を掲げる思いを話す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学園祭での経験を生かして、3年2組のためにできることを考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にキャリア・パスポートの内容を目に通しているので、ねらいに迫る内容を書いている生徒はチェックしておく。 ・委員長の思いを学級全体が受け入れる雰囲気をつくる。 	

<p>展開 40 分</p>	<p>○『今回の経験を今後どのように生かしていきたいか』に記入した内容を生活班で共有し助言し合う。(10分)</p>	<p>・グループ活動のねらいを明確にする。</p>	<p>◎自分や他者の個性を理解したり尊重したりし、よりよい人間関係を形成しようとしている。 【主体的態度】(ワークシート)</p>
	<p></p> <p>S1「S2さんは、転んでしまったS3さんに優しく声をかけていたよね。そういう優しさがクラスのためになると思う。」</p> <p>S4「S1さんは、後輩に積極的に声をかけていた。私も真似できるといいな。」</p>	<p>自分の考えを他者に伝えることで、認めてもらえる経験をしたり、他者の考えを聞いて、さらに自分の考えを深めるきっかけにしたりする。</p>	
	<p></p>	<p>事前に記入されているキャリア・パスポートをスキャンしPDF化。各自の一人一台端末で自分を含め、必要な部分のみ班員の内容が見られるようにしておく。(※1)</p>	<p>※1 キャリア・パスポートを基にした話し合いをする時に、キャリア・パスポートに書かれた記述を全員に紹介するような場合には、必ず本人の同意をとることが必要である。</p>
	<p>○新たなWSを受け取り、次の内容について考える。(個人の活動：7分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>卒業まで残り6か月。さらによりクラスとなり、みんなが笑顔で卒業を迎えられるために3年2組の一員として<u>自分ができ</u> <u>ることを考えよう。</u></p> </div> <p>○考えを発表し共有する。(3～4人) S1「困っている人がいたら声を掛ける」</p>	<p>・個に合わせて適切なハードルを設定できるよう声掛けをする。 ・「自分ができ</p> <p>ること」について、一般的な目標ではなく、具体的な場面を想定したものになるよう促し、実践することにつげられるようにする。</p>	<p>◎これまで挙がってきた仲間の多様な考えや意見を基にして、学級のために自分ができ</p> <p>ることを決定している。 【思考・判断・表現】(ワークシート、観察)</p>

	<p>S2 「リーダーの注意や声掛けに率先して反応したり行動したりする」</p> <p>S3 「今まで注意はなかなかできなかったけれど、少しずつ声かけをしていけるようにしたい」</p> 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>電子黒板と黒板には、生徒の考えを常に残しておくようにし、考える際の助けにしたり、全体での振り返りに活用したりする。</p> </div>
<p>まとめ 5分</p>	<p>○2人の学級委員長がクラスメイトに、思いを伝える。</p> 	<p>・時期的に、この授業を終えると前期の委員長は任期終了となる。最後に、思いをクラスメイトに伝える場面をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>学園祭の振り返りから、3年生の前半の振り返りへ。卒業までの仲間への思いやクラスへ期待を伝える。</p> </div>

6 実践を振り返って

個々が感じた学園祭でのお互いよさを伝え合う活動や、「あなたは〇〇な姿が見られたから、△△なことができるのではないかと」というような助言をする活動を行うことで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した。また授業の後半で共感・応援を基に、仲間との学び合いで知った自分のよさから「自分のできること」を意思決定していく学習過程を構想した。この一連の学習の流れの中で、課題の共有化のための ICT 機器の活用や、話し合いの際の根拠となるキャリア・パスポートなどの資料の活用を積極的に取り入れることができた。

目標 『 学園祭での経験を生かして3年2組のためにできることを考えよう』

●卒業まで残り6か月。さらに良いクラスとなり、みんなが笑顔で卒業を迎えられるために

3年2組の一員として自分ができていることを考えよう。

私は大きく目立って何かをするということは苦手だから、陰からみんなを支えていきたいなと思う。楽しい場面はみんなと思いきり楽しんで、真面目に取り組まないといけない場面では真剣に前向きな姿勢を取り組みたい。掃除とか^{他のことで}おこなっていない人の手伝いをするとか、今までできてきたことに理由をつけて「手伝わない」ことがないようにしたい。

▲卒業までを見通し、自分のできることをワークシートに記述